

「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」の取組状況について

1. 平成19年度における市の事務事業から排出された温室効果ガス総排出量

本庁舎などの電気・燃料等の使用や、清掃センターでの一般廃棄物の焼却等から排出された温室効果ガスについて基準年度と比較したもの（旧2町は除く）

項目	基準年	実績値	増減量 (t-CO ₂)	増減率 (%)	目標値
	平成17年度 (t-CO ₂)	平成19年度 (t-CO ₂)			平成24年度 (t-CO ₂)
電気の使用	31,071	31,071	0	0.0	30,303
庁舎燃料の使用	12,961	10,650	▲2,311	▲17.8	10,156
車両燃料の使用	1,434	1,321	▲113	▲7.9	1,372
一般廃棄物の焼却	62,458	59,953	▲2,505	▲4.0	47,482
その他(※)	4,894	4,983	89	1.8	4,742
合計	112,818	107,978	▲4,840	▲4.3	94,055(▲16.6%)

(※) カーエアコン、下水・し尿処理量などからの排出

○減少した主な要因

- ・ 職員の日常業務における環境配慮行動（エコオフィス活動）の徹底
- ・ 本庁舎のE S C O事業導入など省エネ型設備への改修
- ・ 事業系ごみのごみステーションへの排出禁止に伴うごみ排出量の減少

○総じて目標値達成に向けて着実に推移

★ 削減量の4,840t-CO₂は、一般家庭約690世帯が一年間に排出する二酸化炭素(CO₂)の量に相当

2. 平成20年度の取組

「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」に掲げた目標の達成に向け、平成20年度は、次のとおり実施する。

(1) 職員の日常業務における環境配慮

- 庁舎等におけるエネルギー使用量の抑制
 - ・ パソコン等の長時間未使用時の電源OFF又は待機モードの徹底（重点）
 - ・ 冷暖房負荷を軽減するためブラインド・カーテン等の利用徹底（重点）
 - ・ 「スイッチオフday」の実施（新規）など
- 資源利用の効率化の推進
 - ・ 文書管理システム（電子決裁）の利用徹底（新規）など

(2) 庁舎等の設備や公用車の調達における環境配慮

- 庁舎等における省エネルギー・新エネルギー設備等の導入
 - ・ 今市送水管第3減圧所における小水力発電の導入（新規）

(3) 「宇都宮市役所“ストップ・ザ・温暖化”プラン」に関連する新たな取組

- 庁舎等におけるエネルギー使用量の抑制
 - ・ 本庁舎の照明点灯時間の変更（7:50から8:00へ10分繰り下げ）
 - ・ 「ライトダウンday」の実施（月1回）
- ⇒ 夢時計、スカイブリッジ、城址公園、宇都宮タワー